

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2791300078		
法人名	(株)ニチイ学館		
事業所名	ニチイのほほえみ貝塚 (1F はなみずき)		
所在地	大阪府貝塚市加神1-10-3		
自己評価作成日	平成22年8月15日	評価結果市町村受理日	平成22年11月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.osaka-fine-kohvo-c.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2791300078&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル
訪問調査日	平成22年9月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お客様の体調も考えながら日々の食材の買い物スタッフと共に行って頂き季節を感じて頂いているお客様の笑顔 ご家族様に安心を提供出来るように楽しい事を取り入れる努力・工夫を行っている
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当該ホームは旧家の多い地域にあります。毎日の買い物や散歩などで挨拶を交わしながら少しずつ交流が進められており、近隣の保育園とも交流していきたいと考えられています。ホーム内では日中玄関やユニットの鍵はかけず、常に利用者の行動を意識し見守り、外に出たい様子が見られたら一緒に外に出るなど、その時々状況に応じてできるだけ自由な生活を支援しています。また、利用者の作った季節感あるカレンダーや職員がフェルトで作った人形の飾りで温かな雰囲気を作られ、個々の利用者が安心して穏やかに過ごすことのできるよう支援されています。今後、更に利用者の思いに応え外出や楽しみを増やしていきたいと考えられています。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝、社是・経営理念を全員で唱和し実践につなげるように心掛けている	法人の社是の基「満足の追求」というホーム独自の理念を掲げています。個々の利用者の満足する生活を目指し、毎朝社是と共に唱和しています。職員間の思いが統一されておらず、具体的な実践に向けての取り組みには至っていません。	ホームの理念の意味を職員間で話し合い、同じ方向性を持ち具体的な支援に繋がっていくよう取り組まれることを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣のスーパーにほぼ毎日お客様と行き挨拶などを通して日常の様子を知って頂き交流をしている	毎日の買い物や散歩に出かけた際には挨拶や会話を交わし、自然に交流されています。近隣にある他法人の小規模多機能施設とは連絡を取り合ったり、行事等の行き来する関係にあります。また、近隣の保育所との交流も行っていきたいと考えています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近所を散歩したり外食をしたりし支援の方法など理解して頂いている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	委員会の活動状況を報告し意見・要望も課題として取組んでいる	2か月に1回必ず開催できるように年間予定を立てています。市の担当者や民生委員、家族等の参加を得て開催されています。行事の報告や入居者の状況報告を行い参加者から要望や意見をもらう機会を設けています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	サービスについての相談や報告などを行っている	市の高齢介護課の職員が運営推進会議に参加しているため、定期的に運営状況の報告や助言を頂いています。会議以外にも直接相談できる関係が築かれています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について研修を行い正しく理解した上でケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアについては、ホームの勉強会で職員に理解できるように取り組んでいます。ホームの玄関やユニットの入り口は日中鍵をかけておらず、常に利用者の行動を意識し見守り、外に出たい様子が見られたら一緒に外に出るなど、その時々状況に応じて支援しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内に虐待防止についてのポスターを貼っており研修も行っている		

ニチイのほほえみ貝塚（1F はなみずき）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を開催し知識を広め利用者の支援に繋げている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書を元にわかりやすく説明している		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	話しやすい環境を心掛けている 管理者を苦情等の窓口としている	運営推進会議の参加や来訪時に直接コミュニケーションをとり、意見や要望を聞くように努めています。丁寧にホームの状況を説明し、出された意見に対しても対応しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員とのコミュニケーションを図り 毎月会議を開催し、意見交換を行っている	月に1度の職員会議で委員会活動の報告を行ったり、個々の意見を聞く機会があります。また、ホーム長が交代したこともあり、個別に面接を行い意見や思いを聞きました。利用者のケアについてはサービス担当者会議で意見を出し合いサービスの向上に努めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員にはキャリアアップ制度を設けている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の個々の段階により研修などを受ける機会を作っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のケアマネ会などに参加しネットワーク作り等行っている		

ニチイのほほえみ貝塚（1F はなみずき）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用に至るまでに必ず面会アセスメント等を行っている。 ホーム見学などをして頂いている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様に対しても面会アセスメントを行いお互いの意思疎通に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居判定会を必ず行っている 場合によっては他のサービスを紹介する事も行っている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に買い物に行ったり 洗濯 掃除 食事作りをしている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族様とも良好の関係を築く努力をし 利用者が家族と過ごす時間を持てるよう支援している		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様と相談しながら友人やご近所だった方との交流を支援している	家族から馴染みの場所を聞いたり情報を得ており、外出の際にその場所を通りかかった時に利用者に伝えたりしています。以前からの友人や近隣の方が来訪することもあり、馴染みの関係の継続の支援を行っています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が良き同居人となるようリビングの席を考えたりレクリエーションも取り入れている		

ニチイのほほえみ貝塚（1F はなみずき）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去時にすべての利用者 ご家族にいつでも相談にきて頂けるように声掛けを行っている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族様などからの情報なども参考にし利用者本位のサービスに繋がるよう努める	センター方式のアセスメントを利用して、家族から入居前の生活歴や習慣について情報を得ています。入居後にコミュニケーションを取り、サービス担当者会議で利用者の思いについて検討しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	必ずアセスメントを行い出来るだけたくさんの情報を集める努力をしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員で情報交換を行い現状の把握を努めているが職員の把握状態に差がある		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを定期的に行いそれぞれ意見を出し合い現状に即した計画を作成している	センター方式のアセスメントを基にサービス担当者会議を開催し介護計画を作成しています。会議には家族や本人の参加があったり、医師の意見が反映できるように取り組んでいます。3か月ごとにモニタリングを行い、介護計画の見直しを行っています。また、状況の変化があった時には随時見直しています。	介護計画の実施状況や暮らしぶりの様子が十分に記録に残されていません。記録の内容の再検討を行い、介護計画に繋がるような取り組みを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記入漏れや書き忘れなどがあり正確な情報伝達できていない 気づきや工夫が少ない		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来るだけ要望に添えるよう支援している 家族様にも何かあったら相談して下さいと伝えている		

ニチイのほほえみ貝塚（1F はなみずき）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員など必要に応じ相談や協力を要請している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	24時間連携の取れたかかりつけ医がおり適切な医療を受けられるよう支援している	入居時に今までのかかりつけ医の継続もできることを説明し、かかりつけ医を決めています。以前からのかかりつけ医に通院されている利用者もいます。協力医は週に1回の往診や24時間連絡できる体制が築かれています。週に1回の訪問看護を受けたり、必要に応じて訪問歯科に来てもらっています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間体制の訪問看護師がおり日常の健康管理を行っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時より病院関係及び主治医、家族と連絡を取り退院に向けて支援している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期について管理者、ケアマネ、UL家族間では話しているが十分とは言えない	入居時にホームの重度化に向けた対応の指針について説明し、同意を得ています。重度化や病状の悪化がみられた時には、家族に現状を伝えたり往診日に合わせて家族に来てもらい、直接医師から話してもらっています。家族の思いを大切に話し合いを重ねながら、できる限り看取りまで支援したいと考えています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時等のマニュアル本がありミーティングを開いている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は定期的に行っている 運営推進会議の議題に取り上げて働きかけている	年に2回基本的に消防署の立会いのもと避難訓練を行っています。ユニット入り口には避難経路を貼り常に見えるようにしています。地域との協力体制を築くには至っていません。	運営推進会議などに防災対策について議題とし、ホームの体制や協力依頼に繋がるような働きかけをされてはいいかがでしょうか。

ニチイのほほえみ貝塚（1F はなみずき）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの守られるように介護し言葉掛けしても配慮している	利用者を人生の先輩として尊厳を守り、優しくゆっくりに対応するように心がけています。不適切な対応があればリーダーが個別に注意しています。また、トイレには扉の中にカーテンがあり、介助者の出入り時も中が見えないよう配慮されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の会話の中でご本人の希望を聞いたり思いを引き出せるよう働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	今の職員体制で出来る限り利用者のペースを大切にしているが十分とは言えない		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人に意見を聞きながら服を選んだりしている 理容は訪問理美容を利用している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や下ごしらえなど手伝ってもらっているメニューは統一しているので調理法や味付けなどの工夫により一人ひとりの好みになるように支援している	翌日のメニューを考えて毎日買い物に利用者と一緒に出かけしています。個々の利用者のできることに携わってもらい調理や準備を一緒に行っています。職員は時には同じ食卓に着き持参の弁当と一緒に食べています。	毎回職員も利用者と同じ食卓に着き、会話することで、楽しい食事の時間となるような取り組みを期待します。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量が少ない時はエンシュアを利用したり個別に好物を出したりしている 水分摂取はやや不十分		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個別の対応をしている		

ニチイのほほえみ貝塚（1F はなみずき）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し自立に向けた支援をしている	個々の利用者の排泄パターンを把握したり、利用者から呼ばれ排泄介助を行っています。失敗なく排泄されている方もいますが、紙パンツ等の下着の見直しには至っていません。身体介助が必要な方のトイレでの排泄ができるようになるために取り組んでいきたいと考えています。	個々の利用者にとって快適な排泄となるよう、また排泄の自立に向けて職員間で話し合い、実践に繋げていかれることを期待します。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個別の対応をしている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回を基本にして個々にあった支援をしている	毎日午前中から入浴できるように準備し、本人の意向を聞き入浴しています。希望があれば毎日入浴することもできます。拒否のみられる時には声のかけ方に工夫しながら支援しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間を決めず状況に応じた支援をしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別の対応をしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎月の行事やお誕生日会などを企画・実行している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的には買い物や散歩に行っているが普段行かないような場所となると出来る限り希望通りにしたいが出来ないときもあり得る	毎日買い物に利用者と共に出かけしています。また、気候のよい時は毎日散歩に出かけたり、時には外食に行くこともあります。年に1度の遠足として花鳥園等に出かけしています。近々岸和田のだんじり祭りに行く予定としています。	

ニチイのほほえみ貝塚（1F はなみずき）

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個別の対応をしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は整理が出来ており利用者と一緒にカレンダーを作って壁に貼ったり季節感を出している	共用空間は、対面キッチンとなっており食事作りの様子や匂いから家庭的な雰囲気があります。利用者の作った季節感あるカレンダーや職員がフェルトで作った人形の飾りがホームをより温かな雰囲気にはしています。利用者が穏やかに過ごすことができるよう席を決め、テーブルの配置等に配慮しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室を開放したりリビングで自由に席を変えてもらったりしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使い慣れてきたタンスや布団などをなるべく持ち込んで頂く様にしている	入居時に家族に使い慣れたものを持ってきてもらえるように伝え、ベッドや棚、椅子、仏壇、鏡台等を持ってきてもらい安心した居室となるよう配慮しています。居室でカレンダー作りを行っている方や好きだった着物を出して見たり思い思いに過ごされています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所や各部屋に大きな貼紙をして分かりやすく表示したり矢印を書いたりしている		